

一般演題 プログラム

セッション A (登山と生体反応)

17:30~18:42

座 長 外務省福利厚生室 萩原里江
コメンテータ 総合地球環境学研究所 奥宮清人

- A-1 北アルプス登山者の登山前・中・後にわたる免疫能・心理的变化
林綾子 (びわこ成蹊スポーツ大学) ほか
- A-2 非常用アルミシートの装着が免疫機能に及ぼす影響
小野寺 昇 (川崎医療福祉大学) ほか
- A-3 夏山における山行後の体温変化に関する検討
濱田康宏 (香川大学医学部医学科) ほか
- A-4 大山夏山登山における心拍数、心臓副交感神経系活動及び尿中電解質の変化
野瀬由佳 (川崎医療福祉大学大学院) ほか
- A-5 富士登山時の自律神経応答と身体の電気伝導率
長澤純一 (電気通信大学大学院情報理工学研究科先進理工学専
生体機能システムコース) ほか
- A-6 富士山頂短期滞在時の脳および活動筋の血行・酸素化動態の応答
岡崎和伸 (大阪市立大学都市健康スポーツ研究センター) ほか
- A-7 低酸素曝露によるAT強度の低下は活動筋の脱酸素化レベルと関係している
大澤拓也 (国立スポーツ科学センタースポーツ科学研究部) ほか
- A-8 高度が味覚へ及ぼす影響—富士山における味覚定性定量検査—
笹尾真美 (鶴見大学歯学部歯科麻酔学講座) ほか

A-9 富士登山による視覚機能の変化

小林泰子（川崎医療福祉大学感覚矯正学科）

セッションB（睡眠時sPO₂、中高年、登山パフォーマンス）

17:30~18:42

座長 東京女子体育大学 夏井 裕明
コメンテータ 国際医療福祉大学病院循環器内科 上小牧憲寛

B-1 小児の富士登山における睡眠を含めた経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）について
原田智紀（日本大学医学部機能形態学）ほか

B-2 徳沢（標高 1562m）における夜間睡眠中の経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）の低下
について
中原健（日本大学医学部山岳部）ほか

B-3 無症状 OSAS の高地での睡眠に与える影響：登山の熟練者と初心者との差
福留武朗（ふくおか睡眠クリニック）

B-4 登山経験の少ない高齢者における富士登山時の生理応答
—運動時，安静時，睡眠時を対象として—
笹子悠歩（鹿屋体育大学大学院）ほか

B-5 登山前日の積極的水分摂取が登山時の注意力に及ぼす影響
斉藤篤司（九州大学健康科学センター）ほか

B-6 中高年女性登山者の身体組成における加齢の影響
—大腿前部の筋量維持・増進の必要性—
石田良恵（女子美術大学）ほか

B-7 安全な下山技術の確立へ向けて
(2) HAT 保持姿勢とストックの使用による衝撃吸収
粕谷志郎（岐阜大学地域科学部環境学講座）ほか

B-8 ジュニアクライマーを対象としたパフォーマンス要因に関する意識調査
西谷善子（鹿屋体育大学大学院）ほか

B-9 道迷い登山者のやぶ山中での方向感覚と行動特性
青山千彰（関西大学総合情報学部）ほか

セッションC（内科的疾患・心拍数と山・登山）

17:30～18:34

座長 いちいクリニック 梶谷 博
コメンテータ 信州大学医学部内科学第一講座 花岡正幸

C-1 槍ヶ岳における高地ロケーション撮影で高地肺水腫を発症した一例
海口陽子（長野市民病院呼吸器内科）ほか

C-2 マイクロサテライト解析法による高地肺水腫の分子遺伝学的検討
小林信光（信州大学医学部内科学第一講座）ほか

C-3 冠動脈疾患を有する中高年登山者への治療指針と登山指導：
最新治療がもたらす課題
中田淳（榊原記念病院循環器内科）ほか

C-4 登山の継続を希望する循環器疾患患者への専門的診療の現状：
治療後の登山の可能性拡大を求めて
高山守正（榊原記念病院循環器内科）ほか

C-5 春季登山活動時における環境の変化と喘息体質の有無が呼吸機能へ及ぼす影響
高木祐介（川崎医療福祉大学大学院）ほか

C-6 アンデス高所住民の耐糖能異常と多血症との関連
奥宮清人（総合地球環境学研究所）ほか

C-7 偶発性低体温症の一例
上小牧憲寛（国際医療福祉大学病院循環器内科）

C-8 登山における歩行ペースの心拍数管理
矢崎辰雄（日本勤労者山岳連盟遭難対策部）

セッションD（登山救助活動、山岳診療所、高山病）

17:30～18:34

座長 真網代くじらリハビリテーション病院 坂本貴志
コメンテータ 日本医科大学付属病院病理部 川本雅司

- D-1 谷川岳における山間部救助活動と救命救急の現状に関する調査
齋藤繁（群馬大学大学院医学系研究科）ほか
- D-2 国際山岳救助委員会医療部会（ICAR-Medcom）の活動について
大橋教良（帝京平成大学救急救命士コース）ほか
- D-3 富士山八合目富士吉田市救護所22年度活動報告
堀内治美（富士吉田市立病院）ほか
- D-4 登山者検診ネットワークによる事前検診受診者の高所ツアー中 Lake Louise Score
と経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）
原田智紀（「日本登山医学会 登山者検診ネットワーク」スタディー実行委員会）
ほか
- D-5 奥穂高岳登山者の実態調査
大平幸子（岐阜大学医学部看護学科）ほか
- D-6 徳沢アンケートによる登山中医療ニーズ調査
平田衣里菜（日本大学医学部山岳部）ほか
- D-7 西穂高診療所における潜在的高山病の検討
佐藤真司（済生会横浜市東部病院消化器内科）ほか
- D-8 富士登山における高所性頭痛について
橋本しをり（東京女子医科大学神経内科）ほか